

小学校

英語活動ニュース

<http://oesesactivity.web.fc2.com>

<http://www.oeses-osakasayama.jp>

理事長に石井重光氏が就任！

「大阪狭山小学校英語活動支援の会」では、理事選任の理事会があり、中林眞佐男氏が、理事長を辞任されたのに伴い、新理事長に石井重光氏が推薦され、承認されました。

なお、中林眞佐男氏には、会員となって会の運営に協力をしていただくことになりました。石井重光氏は、堺市立中学校で英語を教え、堺市教育委員会に務められた後、堺市立3校の中学校長を経験されています。



石井重光氏挨拶

この機会に「NPO 大阪狭山小学校英語活動支援の会」の設立の経緯・概要を記させていただきます

平成21年の2月、当時の大阪狭山市教育委員会 学校教育課長であった柳 充先生（現第3中学校長）から、下記の案内が出されました。

大阪狭山市において、市民が主体となってこれからの小学校英語について考えていくための市民ネットワークが設立されます。以下に第一回目の会合の予定をご案内いたします。

多方面で活躍中の地域の方々にお集まりいただき、大阪狭山市における英語活動を一緒に考え、共につくりあげていきませんか。

まずは第一回目の会合にご参加いただき、その上で今後継続されるかどうかお考えいただければと思います。沢山の方々の参加をお待ちしています。

第一回会合の予定

1. 日時 平成21年2月13日（金）午後2時～4時まで
2. 場所 大阪狭山市市民活動支援センター2階講堂
3. 趣旨 市民が主体となって、英語活動のあり方について企画、立案し、行政・学校との連携を図りながら、実際に英語活動を行っていく
4. 内容 これまでの市の取り組み、組織のあり方、今後の予定など
5. 連絡先 Phone:072-366-0011 ext. 806 FAX:072-367-6011

大阪狭山市教育委員会

担当：柳

この呼びかけに対して、J-shine（小学校英語指導者認定協議会）の案内を受けて参加した方や全く個人的にたまたま案内を知り参加した方、あるいは、町づくり研究会を通して知った方、都市間市民交流協会国際部会で案内を知り参加した方など様々な方が集まってきました。

これを契機に、ほぼ毎月、全く白紙の状態から会議が開催されました。

特に、当初話題になったことは、「小学校英語活動は必要か？」「学校に地域住民が入ることを学校

は歓迎するか?」「財政的な支援は大丈夫か?」「市教委は支援を途中で放り出すことはしないか?」「NPO化はなぜ必要なのか?」等でした。

大阪狭山市教育委員会から「花壇に、種も土も水も用意する。それを上手に耕し、咲かせてほしい」と言われ、「財政的なバックアップは心配ない。途中で投げ出すことは全体にない」との返事をいただいたのを契機として、会の名前を「大阪狭山小学校英語活動支援の会」と決定して、NPOの承認を得るために動き出しました。

その後は、小学校英語活動の目的や必要性については、文部科学省書籍や筑波大学作成のDVDで研修しながら、実践については、他市で開催される講演会や公開授業研究会に積極的に参加しました。また、J-shineや個人の英語教室での実践例の交流をし、英語の発音指導については、故中津（篠原）燎子先生の持論である「カタカナ英語では、世界で恥をかくし、意見を主張しても聞いてくれない」などの経験談を聞きながら、再度鏡をもって発音練習、学校に行く際に配慮すべきことは何かなどの規律面の確認、さらには山中雅典元校長先生（当時第3小学校勤務）からは、支援の会に何を期待しているか等を細かく研修して来ました。

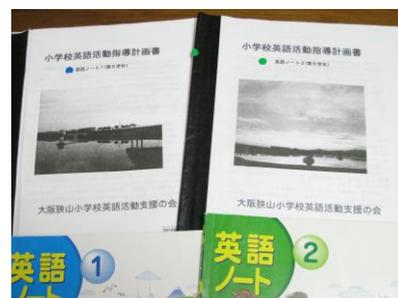
平成22年年4月 NPO の認可が下り、助成金の交付を受け、9月から後方支援開始

『英語ノート』が配布され、各学校の英語活動の時間に3人のALTが全時間配置されていました。支援の会は、9月から後方支援者という形で英語活動の時間に入ることになりました。ALTの契約は、6月から2月までだったので、3月の2時間ほどを担当の先生と一緒に英語活動をさせていただきました。

平成23年度は、支援者として活動開始

ALTが2人体制となり、支援の会は、5月から後方支援ではなく支援者となって、担任の先生の主導のもとに英語活動を実施することになりました。そして6月から入るALTとも一緒に授業作りを始めました。支援の会では、すべてのレessonプランを立てるために会議を積み重ね、『Book 1, Book 2』それぞれの授業活動案集を夏休み中に作成し、市内全小学校に配布しました。

南中学校では、『話せる英語プロジェクト』を実施するので協力してほしいとの依頼を教育委員会から受けて、1年生の1学期から支援させていただきました。



平成24年度からは、小中連携校を加えての支援活動開始

『英語ノート』に代わって『Hi, friends!』が教材として、登場しました。

学年に応じたの言語材料の系統化を図り、『Hi, friends 1 2』の表紙・裏表紙絵が示す、船に乗って出かけて、『桃太郎』の鬼も仲良くなって皆で帰ってくるというストーリー性、DVDに用意された様々な材料を取捨選択しながら使っていくことができるまさにICT時代の教材などの特徴があります。

新しい体制として、小中連携が誕生し、第3中学校の中里先生が西小学校、第7小学校へ英語指導者として、兼務配置されました。南中『話せる英語プロジェクト』では、南中学校全学年に支援の会が支援者となって入ることになりました。

市教委主催の『授業づくり研修会』が年4回開催され、先生方と一緒に研修させていただきました。また、各学校で行われる公開授業にも参加して、先生方との交流もできるようになりました。

平成25年度は、ALT1人体制。今、『支援の会』がおもしろい！

小学校へのALTが1名配置となりましたが、このことは、ALTの代わりとして地域人材である『大阪狭山小学校英語活動支援の会』への期待が大きいものと実感しています。

この期待に応えるために、毎月の例会で、次月に学習するプランを会員全員でアイデアを出し合いながら、子どもたちが元気に、楽しく活動できる授業づくりの支援者となることを目標に勉強しています。



平成25年度 夏季 2大イベント無事に終了

夏季合同研修会



8月6日(火曜日)午前9時30分から大阪狭山市教育委員会尾島肇主幹の挨拶をいただいた後、J-shine(小学校英語指導者認定協議会)トレーナーであり、「支援の会」理事でもある、伊藤美幸さんが講師になり、英語活動の目的はなんであるかという基本的なことから、これから課題となるフォニックス指導までを実践活動例を交えながら、ワークショップしました。特に、9月の授業から使える実践例として、「Hi, friends 1, 2」のLesson 6のActivityの紹介がありました。チャンツにあわせてアルファベットを“z”から逆に言う、あるいは「BINGO」の一つ

ずつの文字を人が形を作って、手を叩く代わりに身体表現するなど、楽しい実践例があり、あっという間の2時間30分でした。

『ふれあいの里』英語ディキャンプ

～「英語で世界とお友達」～

英語を使って、“音楽、体育、図工、社会、理科、算数”をしてみませんか？もちろん英語を知らなくても大丈夫！

上記のキャッチコピーを基に、8月9日(金曜日)、大阪狭山市内の高学年の児童21人とアメリカ人の児童3人が参加した『英語ディキャンプ』を「市民ふれあいの里」で開催しました。

スタッフは、「大阪狭山小学校英語活動支援の会」から15人、アメリカ人3人、西アフリカのシェラレオーネから1人、カナダ人1人、ニュージーランドから1人という豪華な指導陣で、とても暑い日でしたが、参加した子どもたちは、楽しそうに英語を一生懸命に使っていました。

1時間目は、「社会」と題して、『パスポートゲーム』

本物そっくりのパスポートを持って、8か国(アメリカ、イギリス、カナダ、ニュージーランド、シェラレオーネ、フィリピン、インド、オーストラリア)の国旗のあるブースを訪問して、入国審査員から、スタンプとサインをもらうというゲームです。それぞれの国で待ち受けるネイティブとスタッフからの「名前やどこから来たのか、好きなスポーツや食べ物等」という質問に、上手に答えていました。特に、4年生の児童にとっては、初めての英語会話ですが、前の子の英語を集中して見聞きした後、それを真似て一生懸命に話していました。耳からだけで覚えられる子どもの素晴らしい能力を再確認したひと時でした。

2時間目は、「図工」 『マラカスづくり』

500ccのペットボトルの底近くを切り取って、その部分にゴム風船をカラービニールテープで止めて、中にコーンやお米を入れて作りました。叩いたり、弾いたりすると、いい音が出ていました。

3時間目は、「音楽」です。『アメリカとアフリカの歌と踊り』

2時間目に作ったマラカスを使って、アメリカの歌を歌いながら踊りました。アフリカの歌では、狩りをするときの歌や踊り、それにリンボーダンスをサムエルさんの太い声に合わせて楽しく踊りました。

4時間目は、「算数」

『ラッキーセブンじゃんけんと Bingo』

2人のじゃんけんの合計が7になると外国人スタッフのところへアイスクリームスティックを貰いにいきます。ビンゴでは、1から16までの数字を勉強しました。ビンゴの一つ前では「リーチ」ではなく、「one more」と言ってくれていました。Bingoになると、チューペットがもらえたので、みんな一生懸命に集中して参加していました。



お昼ご飯は、当日、スタッフが調理した『ホットドッグとジュース、焼いたマシュマロを挟んだクッキー』

5時間目は、「理科」 『シャボン玉液』を作るとばそう！

スタッフから教えてもらったシャボン液を作って、シャボン玉を飛ばしました。ハンガーを変形させて、大きなシャボン玉も作りました。軍手の上でシャボン玉を止めたり、跳ねたりさせて楽しみました。

6時間目は、「体育」 『サッカーのPK合戦、綱引き、しっぽ取りゲーム、サックレース』

PK合戦のしているときに、教育委員会からのアイス菓子の差し入れがあり、みんな大喜び。元気を取り戻して、残りのゲームも思い切り体を動かして汗をかきながら楽しみました。

7時間目は、「英語」 『Peach Boy 桃太郎』の物語の読み聞かせ

6人の外国人スタッフが、声色を使ったりして、楽しく演出してくれました。特に鬼役のサムエルさんはすごい演技力で、子どもたちが知り尽くしているお話でしたが楽しく鑑賞できました。

全体集合写真を撮った後、終わり会では、振り返りカードを記入して、健康チェックをして解散しました。

今回の「英語活動ニュース」第8号は、『大阪狭山小学校英語活動支援の会』の今までの取り組みの概要を記させていただきました。他市においても地域人材活用として、JTEが英語活動に参加する機会が多くなってきていますが、他市に例を見ない大阪狭山市・大阪狭山市教育委員会の財政的な支援のお蔭で、支援活動ができることを感謝しています。私たちの会員は、とても高度な英語力とともに、海外生活体験という異文化経験をもち、さらに児童英語指導の実践者として、多様なスキルを持っています。最近、英語活動では新たに『フォニックス指導』が大きく叫ばれるようになりました。また、『教科への移行』『低学年からの指導開始』も話題になっています。

これらの課題を踏まえながら、例会での勉強会を進めていますので、興味のある方は、ぜひ、ホームページを覗いていただけたらと思います。